

週間でNYダウは4週間ぶりの上昇で終える

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

週間では上昇で終える

先週末の日経平均は+320円(+1.2%)の2万6491円であった。週間では+528円(+2.0%)と反発した。米国市場でも先週末に発表されたミシガン大学が発表した1年後、5年後の期待インフレ率が市場予想を下回ったことから過度なインフレへの警戒感が薄れ、先週金曜日のNYダウは+823ドル(+2.6%)の3万1500ドル、ナスダックは+375ポイント(+3.3%)の1万1607ポイントと上昇し、週間ではNYダウが+1612ドル(+5.3%)、ナスダックが+809ポイント(+7.4%)と4週間ぶりの上昇で終えた。先週末のシカゴ日経平均先物は大証比+390円の2万6870円であった。

景気後退リスクとインフレ見通しに左右される市場

先週の日経平均は、米国株の影響を大きく受け、安値は月曜日には6月6日以来の安値となる2万5520円にまで下落したものの、金曜日は2万6491円で引けている。米国の利上げの影響によって、米国経済がリセッション(景気後退)入りする懸念が米国市場の株価下落の背景となっている。一方で、インフレがピークアウトするような見方がされると買いが入る、非常にボラティリティが高い相場環境となっている。日本株にとっては米国の長期金利の上昇は円安ドル高を加速させており、1ドルが135円程度の円安になっている。このことからグローバル企業の収益環境に追い風になっているといえる。とはいえ、来年の世界経済は不透明感を増していることから株式の需給はまだ厳しい状況が続くことが予想されよう。今週の日経平均のレンジは2万6000円~2万7500円を想定。

東京市場マーケットデータ

2022/6/24 現在

日経平均	2万6491円
プライム売買代金	2兆9584億円
プライム時価総額	671兆8893億円
日経平均予想PER	12.7倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/6/24 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	6.2%
2 東京エレクトロン	3.9%
3 ソフトバンクグループ	2.3%
4 WSCOPE	11.7%
5 レノバ	24.2%
6 信越化学	4.3%
7 ファーストリテイリング	▼0.5%
8 トヨタ	▼0.7%
9 川崎汽船	0.5%
10 キーエンス	0.2%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

